

U10 奈良ジュニアサーキット大会 2016 第1戦

大会要項

- 【主催】 奈良県テニス協会
【特別協賛】 ヨネックス株式会社
【開催期日】 平成28年5月1日(日) 予備日：なし 12：45集合
【会場】 会場：ダイヤモンドテニスクラブ学園前
〒631-0002 奈良県奈良市東登美ヶ丘4丁目23-4
【コート】 カーペットコート4面(インドア) 当日欠席の連絡先：0742-48-4775
【種目】 10歳以下 シングルス(男女混合) グレードA大会
【運営役員】 奈良県テニス協会ジュニア委員会
【レフェリー】 畑山 貴朗
【試合方法】 5名1ブロックでの予選リーグを行い、予選1位通過者のみ、本戦トーナメントを行います。
予選リーグは4ゲーム先取。本戦は6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)で行います。
※当日は、予選敗退者のうち希望者は、タイブレークマッチでの練習試合を行います。
【使用球】 YONEX グリーンボール
【参加定員】 定員は20名(男女比は関係ありません)
定員がオーバーする場合は、本大会はグレードA大会のため、エントリーを締め切った段階で
エントリーリストの2015年のランキングの上位者から20名が優先的に選出されます。詳細は、
グレードAの選考基準をご確認ください。
【参加資格】 10才以下の選手(奈良県在住者又は県テニス協会加盟団体のクラブに所属する者)
※試合当日に10歳以下の参加資格を満たしていれば、参加可能とします。
【参加条件】 セルフジャッジで試合を進行することが出来て、タイブレークを理解しているもの。
【参加料】 3000円 ※当日持参
【参加申込】 ①ホームページ『奈良県テニス協会 ジュニア』の大会申込み用紙を用いて必要事項を記入し
naratejunia@nike.eonet.ne.jp に電子メールで申し込む事。
※事務局より、登録受付の回答が届かない場合は各自で再度ご確認ください。
【登録】 今後の試合出場を円滑に行うため、出場者は奈良県のジュニア選手に自動登録されます
【ポイント】 U10奈良県ランキングの規定に準じる。
【申込締切】 4月22日(金) 午後5:00まで
クラブの責任者がランキング順に取りまとめメールにて申し込むこと。
U10グリーンボール事務局 申し込み先 e-mail naratejunia@nike.eonet.ne.jp
【ドロー】 当日抽選 (※ポイント上位者によるシード4名)
エントリーリストは4月26日(火)以降に奈良県協会のホームページにて公開されます。
【キャンセル】 エントリーの取りやめは、25日(月)午後5:00までに naratejunia@nike.eonet.ne.jp に
申し入れること。以降のキャンセルは、欠席でもエントリー料は必要となります。
欠員が出た場合には、エントリーリストの上位者に連絡します。
【その他】
1.本大会参加に伴い入手した個人情報(本大会および本大会に関連する目的以外には使用しません。
(試合風景を撮影し、大会事務局に報告をいたしますので、撮影を拒否する場合は事前に藤本まで
お申し出ください。))
2.競技ルールは【JTA TENNIS RULE BOOK 2015】に準じます。
3.服装規定は奈良県テニス協会のホームページをご覧ください。
<http://nara-tennis.com/junior/junior.html>
4.試合数に影響がでるため、期日以降のキャンセル、当日のキャンセルはご遠慮ください。

U10 奈良ジュニアサーキット 2016 大会概要

【仮年間スケジュール】 ※予定は予期なく変更になる場合があります。

	日程	予備日	会場	ドロー	グレード	コート
第1戦	5月1日(日)	インドア	ダイヤモンド TC 学園前	20	A	カーペット
第2戦	6月12日(日)	なし	ユニークスタイル(五條市阿田峯公園)	20	B	クレー
第3戦	8月14日(日)	なし	ダイヤモンド TC 学園前	20	A	カーペット
第4戦	8月23日(火)	なし	ユニークスタイル (高田総合公園)	20	B	クレー
第5戦	9月4日(日)	なし	ユニークスタイル(天理市福住運動場)	20	A	オムニ
第6戦	10月30日(日)	インドア	ダイヤモンド TC 学園前	20	B	カーペット
第7戦	11月3日(祝)	なし	ユニークスタイル(天理市福住運動場)	20	A	オムニ
第8戦	12月4日(土)	なし	ユニークスタイル(第二浄化センター)	20	B	クレー
最終戦	12月30日(金)	インドア	ダイヤモンド TC 学園前	12	マスター	カーペット
調整中	U10 強化練習	なし	※現在調整中	未定		オムニ
調整中	1月	なし	※現在調整中	未定		

※上記の日程は現在決定している内容であり、追加・変更の場合があります。

【グレード】 大会のグレードを「グレード A」「グレード B」と2種類設置し、各大会に応じたポイントを付与します。

【マスター大会】第8戦が終わった時点での、ランキング上位者はマスター大会に出場できます。

マスター大会が終了後のランキングで、上位6名の選手は、10歳以下の強化指定選手として U15 の前期の強化練習に参加する特典が与えられます。なお、選出者のうち、U12の強化指定を受けている場合は、ランキング順に繰り上がり上位6名を決定します。

【試合】 16ドローの場合 予選4名(20ドローの場合は5名)でのリーグ戦にて順位を決定 4ゲーム先取本戦 予選1位での通過者4名での総当たり戦 6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)

【コンソレ】 予選通過1位以外の選手は、予選で終了となりますが、予選終了後、希望者のみで練習マッチを行います。なお、練習マッチの形式は、当日の参加者人数などにより異なります。

【種目】 シングルス(男女混合)

【ボール】 グリーンボール コートサイズは通常通り

【参加資格】 大会実施日に 10 歳以下であること。
セルフジャッジで試合が進められること
・奈良県在住の者又は県テニス協会加盟団体のクラブに所属している者。
(エントリー後は奈良県テニス協会ジュニア選手として自動的に登録される。)

【ポイント】 大会のポイントについては、奈良県 U10サーキットのみの独立したポイントとする。
ただし県ジュニアなどでの 12 歳以下でのドロー作成のシード順位などに、同率ポイントや、ポイント参照がない場合におけるシードの優劣を決める場合に、同ポイントランキングを参照とする。

【エントリー】 グレード A、グレード B、マスターズとも誰でもエントリーが可能。
ただし定員を上回る場合は、以下の方法で参加リストを作成する。
・マスターズは第8戦を終えた時点でのエントリー者上位者12名を選出。
・グレード A は U10 奈良県ランキング上位者より順に選出。
・グレード B は U10 奈良県ランキング下位者より順に選出。

U10 奈良ジュニアサーキットドロワー作成基準

以下のドロワー作成基準は、2016年度の基準となります。現在、奈良県内にどれだけの潜在ジュニアがいるかの把握が出来ない状況ですので、この選考基準は今後よりジュニアたちが競いやすく、また多くの試合経験が浅いジュニアたちが「県ジュニアの前のステップとなる」ように基準を模索していきます。

より良い方法が見つかった場合は、来年度以降に再協議して変更します。そのためのドロワー基準ですが、ガラス張りのドロワーにするために公開させていただきます。

【グレード】 大会のグレードを「グレード A」「グレード B」と2種類設置し、各大会に応じたポイントを付与する。

【試合】 予選 4名でのリーグ戦にて順位を決定 4ゲーム先取 デュース有
本戦 予選1位での通過者4名での総当たり戦 6ゲーム先取 ノーアドバンテージ方式

【練習試合】 予選通過1位以外の選手は、予選で終了となりますが、予選終了後、希望者のみで6-6タイブレーク形式での練習マッチを行います。なお、練習マッチの形式は、当日の参加者人数などにより異なります。

【参加資格】 大会実施日に10歳以下であること
※U10大会への参加者は、自動的に奈良県ジュニア登録が行われます。

【ポイント】

グレード A ポイント		グレード B ポイント		マスター大会ポイント	
優勝	8ポイント	優勝	4ポイント	優勝	12ポイント
準優勝	6ポイント	準優勝	3ポイント	準優勝	10ポイント
ベスト4	4ポイント	ベスト4	2ポイント	ベスト4	8ポイント
ベスト8	2ポイント	ベスト8	1ポイント	ベスト8	6ポイント
参加	0.5ポイント	参加	0.5ポイント	参加	2ポイント

【エントリー】 グレード A、グレード B とも誰でもエントリーが可能。
ただし定員を上回る場合は、以下の方法で参加リストを作成する。
・グレード A は U10 奈良ランキング上位者より順に選出
・グレード B は U10 奈良ランキング下位者より順に選出

【シード】シードは上位4名が予選の4ブロックにわかれる。
エントリーランキング1位は予選「A」ブロック
エントリーランキング2位は予選「D」ブロック
エントリーランキング3位は予選「C」ブロック
エントリーランキング4位は予選「B」ブロック

【グレードAの選考基準】

- (1) U10ランキング上位者より選出
- (2) 仮にランキング保持者が16名に満たないのであれば、ノーランカーより選出
- (3) ノーランカー同士の選出方法は、各クラブのエントリーランキング上位者より1名を選出しクラブ単位で1名ずつ選出していく。

※ランキングが同位の場合は、アベレージポイント(ポイント数÷出場者数)が上位者を優先

エントリー数が「少なく、ポイントが多い」人が優先される。

※上記で決定しない場合は、直近の1大会でのグレードの出場歴にて判断する。

※上記で決定しない場合、またはノーランカー同士の抽選は、各クラブ単位で行い、クラブ内ランキングが高い順に1名ずつ選出していく。

上記で決定しない場合は、抽選となる。

【グレードBの選考基準】

(1)ノーランカーより選出

(2)仮にノーランカーが16名に満たないのであれば、ランキング下位者より選出

(3)ランキング下位者同士の選出方法は、各クラブのエントリーランキング下位者より1名を選出しクラブ単位で1名ずつ選出していく

※ランキングが同位の場合は、アベレージポイント(ポイント数÷出場者数)が下位者を優先
エントリー数が「多く、ポイントが少ない」人が優先される。

※上記で決定しない場合は、直近の1大会でのグレードの出場歴にて判断する。

※上記で決定しない場合、またはノーランカー同士の抽選は、各クラブ単位で行い、クラブ内ランキングが高い順に1名ずつ選出していく。

上記で決定しない場合は、抽選となる。

【本戦トーナメント】

本戦トーナメント(準決勝)のドローは次の通りとなる。

各A～Dの予選1位通過者の本戦トーナメントの組み合わせ

予選「A」ブロック vs 予選「B」ブロック

予選「C」ブロック vs 予選「D」ブロック

(仮)グレードA大会の場合

	氏名	所属	P	出場数	アベレージ	直近の大会履歴・戦績
1	奈良	あTC	14	4		
2	生駒	いTC	9	4		
3	郡山	あTC	5	4		
4	檀原	えTC	4	3		
5	郡山	いTC	3	2	※1.5P	
6	天理	あTC	3	3	※1P	
7	桜井	あTC	3	3	※1P	
8	高田	うTC	2	2		
9	香芝	えTC	1.5	1	※1.5	
10	五條	いTC	1.5	2	※0.75	
11	王寺	あTC	1	1		
12	宇陀	おTC	0.5	1		前回グレードA 出場
13	広稜	かTC	0.5	1		前回グレードA 出場
14	御所	あTC	0.5	1		前回グレードB 出場
15	葛城	いTC	0	0		【抽選】 ※クラブ内ランキング上位者
16	田原	えTC	0	0		【抽選】 ※クラブ内ランキング上位者
17	三宅	いTC	0	0		補欠1
18	斑鳩	おTC	0	0		補欠2

注意①【抽選】は、平等性を考慮し、クラブ単位で行います。

②クラブ内ランキングとは、エントリー時に提出された、クラブ側が作成(提出)したランキング順となります。

U10 奈良ジュニアサーキットについて

【趣旨目的】

ドロー数(試合に出場するジュニアの数)が少ない奈良県は、県内での競争が少ないため、競争力の高い関西や全国の舞台では苦戦を強いられているという現状があります。

また、全日本ジュニア大会へ繋がる、関西ジュニア予選大会への出場枠は、各都道府県のドロー数(出場者数)に応じて振り分けられることから、奈良県の選手は常に関西ジュニアへ挑戦できる出場枠も、他府県に比べて少ないのが現状です。

そこで奈良県15歳以下のジュニア強化委員は、2014年度より10歳以下の公認大会を設置し、普及・育成に向けて取り組んだところ、12歳以下のドロー数が兵庫、大阪、京都に続く、ドロー数となり、低年齢において、県内でも切磋琢磨できるようになってきました。

これらの取り組みより、12歳以下の選手が関西ジュニアでも輝かしい成果を上げてくれています。

2016年の取り組みは、低年齢の強化育成と同時に、「今まで県ジュニアに参加したことがないジュニア」に参加してもらえることを重要視しています。

そのため U10の大会では「アンダーサービス」や「ラリーが続かない選手」であっても、どんどんチャレンジして試合を楽しんでもらえる大会の位置づけになるように、各クラブと連携して参ります。

一人でも多くの選手がエントリーすることで「少人数で競争力の低い奈良県」から、競争力が高い、層の厚い奈良県にしていきたいと考えています。そしてその先には、ソフトテニスのように「テニス強県」として全国で戦っていける総合力を養っていきたくて考えておりますので関係者様、コーチの皆様、そして保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【奈良ジュニアサーキット大会の目的】

(1)低年齢での育成

現在、奈良県における12歳以下のドロー数の平均は、男子35~45名、女子15~20名となっています。他府県と比較してみると、強豪県と呼ばれる県は、男子200名前後、女子120名前後となっており、その差は競技成績にも影響しています。そこで、奈良県においても12歳以下での競技人口の増加を視野に入れた10歳以下の低年齢期での大会を設置することで、早期に試合に出場する競技者テニスに移行できると考えています。

(2)地域の活性化

低年齢期での競争力の強化を図ることは、現在スクールに通う子供たちへの目標設定としても効果を持ちます。グリーンボールを使用することで、10歳以下の技術が未熟な子供たちでも、ゲームを楽しむことが可能になり、テニスへの新しい興味の要素が増えると考えます。また民間企業の協力により、各地域や各スクールに応じた大会を実施出来ることは、地域ジュニアの普及・育成にもつながります。

(3)ゲーム能力の向上

奈良県以外の各都道府県においては10歳以下の大会などを設置し、低年齢から競争をおこなっており、その低年齢強化への流れは、10歳以下のプレイ&ステイプログラムの普及とともに加速しています。プレイ&ステイのボールは通常ボールよりも弾みやスピードを抑えられるため低年齢においても、十分にゲームを楽しむことができ、またテクニックを磨くことができます。低年齢から試合環境を設置し、戦略・戦術の要素を持ちながら、必要なテクニックを磨いていくことにより、U12の競技力の向上に繋がります。